

秩父 市議会だより

第21号

発行
秩父市議会
編集
市議会だより編集委員会
秩父市議会事務局
☎ (25) 5224
FAX (24) 2594
URL <http://www.city.chichibu.lg.jp>



《原谷保育所》「わーい!プール遊びって、たーのーしーいなー」

夏本番!水とお日さまと大の仲よしの子どもたち
毎日、水しぶきをあげながら、みんなイルカさん
に変シーン?

プール遊びを通して心もからだも、もっとたくま
しくなってね!

5月臨時会

正副議長選出

平成22年5月21日



副議長

金田 安生



議長

小櫃 市郎

秩父市議会5月臨時会は、5月21日の1日を会期として開かれました。この臨時会で審議した議案は、市長から提出された20件、議員から提出された1件の議案、合計21件の議案です。上程された議案は、原案可決、承認及び同意されました。また、正副議長の選挙が行われ、議長に小櫃市郎議員、副議長に金田安生議員が選出されました。さらに、各議員の議席や常任委員会の所属等についても、次のとおり決定しました。

議長あいさつ

市民の皆様には、当市議会に対しまして深いご理解とご支援をいただき、心より厚くお礼申し上げます。私どもは、去る4月の選挙後、5月の臨時議会において、議長、副議長に選任いただきました。その責務の重さに身の引き締まる思いであります。また、円滑な議会運営の礎として、また、市政発展のために全力でその任務に努力する覚悟でございますので、一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年度の主要施策である、「定住自立圏構想」を活用し、秩父市が直面する高度化、複雑化する諸問題に対し、秩父郡市1市4町と連携し、医療体制の弱体化が懸念されている医療分野を重点に、また、観光、産業の振興を進め、住民サービスの充実を実現し、「秩父に住んで良かった」と思えるまちづくり構想が進められております。また、秩父の自然を守り、歴史や文化、伝統を後世に伝えていくため、「秩父祭の屋台行事と神楽」を世界無形文化遺産に登録するための取り組みがなされてお

ります。

厳しい経済状況が続く中、健全な行財政運営を維持していくため、事業仕分けをし、無駄を排除し、事業の見直しをする中で、組織改正を行い社会情勢の変化や政策課題に、対応しやすい組織強化を図り、市民への行政サービスの向上に取り組まれています。

秩父市の将来にとって、古くからの伝承文化と歴史に育まれた秩父は、豊かな自然と文化が織り成す景観と自然森林資源に囲まれています。秩父の山紫水明と森林立国秩父は全国に誇れるものであります。計り知れない可能性ある秩父の土壌と文化、そしてそれらを取りまく環境を後世に残し伝承していくことが、私達に課せられた使命であると思えます。

市民一人一人が安心して暮らし生活できる秩父市づくりを目指し、秩父地域議長会の連携を深め誠心誠意努力し取り組んでまいります。今後とも、市議会に市民各位のご支援を賜りますようお願い申し上げます。就任のあいさついたします。

常任委員会

◎委員長 ○副委員長

委員会名	氏名									
総務委員会	◎笠原 宏平	○松宮 澤一雄	上林 富夫	金田 安生	◎新井 豪進	○富田 俊和	高野 宏忠	落合 芳樹		
建設委員会	◎山 中	○福井 貴代	高野 宏忠	落合 芳樹	◎逸見 英昭	○出浦 章恵	竹内 勝利	小池 治		
生活産業委員会	◎大久保	○進	竹内 勝利	小池 治	◎江田 治雄	○金崎 昌之	新井 重一郎	木村 隆彦		
文教福祉委員会	◎五野上 茂次	○斎藤 捷	新井 重一郎	木村 隆彦						

議会運営委員会

◎委員長 ○副委員長

委 員 会 名	氏 名
議 会 運 営 委 員 会	◎落 合 芳 樹 ○福 井 貴 代 五野上 茂 次 新 井 豪 齋 藤 捷 栄 浅 海 忠 宮 田 勝 雄 荒 船 功

議席番号及び議場の配置図

[illegible]

報道者及び一般傍聴席

● 人事案件

任期満了に伴う、秩父市監査委員の選任、秩父市教育委員会委員の任命、および秩父市固定資産評価員の選任について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

秩父市監査委員

宮田 勝雄（大滝）

秩父市教育委員会委員

横田 俊治（上町）

秩父市固定資産評価員

関根 進（大野原）

● 決 議

5月臨時会の本議会において、議員提出議案1件が提出され、原案のとおり可決されました。

議会改革特別委員会設置に
関する決議

① 本議会に議会改革特別委員会を設置し、8人の委員をもつて構成する。

2 議会は、特別委員会に対し、次の事項を付託する。

議会の組織、運営等に係る調査研究及び審査。

3 特別委員会は、議会の閉会中も開催できるものとし、議会が本件終了を議決するまで継続して行うものとする。

※ 所属委員については9ページを参照してください。

会派別名簿

市 民 ク ラ ブ	荒 船 功 宮 田 勝 雄 浅 海 忠 落 合 芳 樹 木 村 隆 彦 笠 原 宏 平 竹 内 勝 利 江 田 治 雄 冨 田 俊 和
彩 政 会 (旧・自由民政クラブ)	金 田 安 生 逸 見 英 昭 新 井 豪 松 澤 一 雄 小 池 治 五 野 上 茂 次 高 野 宏
日本共産党秩父市議団	斎 藤 捷 栄 新 井 康 一 山 中 進 出 浦 章 恵
公 明 党	福 井 貴 代 大 久 保 進
会派に属さない議員	上 林 富 夫 金 崎 昌 之 新 井 重 一 郎 小 櫃 市 郎 (議長は会派に属さない)

※平成22年5月21日に、会派名変更届が提出され、「自由民政クラブ」が「彩政会」に変わりました。

附属機関の委員

附属機関委員等一覧

※常任委員会委員長、副委員長兼務

議 席 番 号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26
議員氏名 名称・人員	上 林 富 夫	金 崎 昌 之	新 井 重 一 郎	木 村 隆 彦	竹 内 勝 利	冨 田 俊 和	高 野 宏	五 野 上 茂 次	小 池 治	松 澤 一 雄	新 井 豪	金 田 安 生	逸 見 英 昭	笠 原 宏 平	落 合 芳 樹	江 田 治 雄	斎 藤 捷 栄	出 浦 章 恵	新 井 康 一	山 中 進	大 久 保 進	福 井 貴 代	小 櫃 市 郎	浅 海 忠 雄	宮 田 勝 雄	荒 船 功
広域市町村圏組合議会	8						○			○	○				○				○			○		○		○
監 査 委 員	1																								○	
地域振興公社評議員	6	○		○				○							○					○		○				
公有財産審議会	8		○						○				○				○			○				○	○	○
青少年問題協議会	1												○※													
民生委員推薦会	2	○※														○※										
介護保険運営協議会	2															○				○						
国民健康保険運営協議会	4				○		○												○			○				
健康づくり推進協議会	1															○※										
都市計画審議会	6	○				○				○				○				○			○					
景観審議会	3										○※		○※			○※										
市立病院運営委員会	1															○※										
秩父4ダム連絡会	7				○			○	○										○		○				○	○

5月 臨時会

審議した議案の結果

議案番号	件 名	結 果	会派の態度				
			市民ク	彩政会	共産党	公明党	上林金崎新井
第 43 号	専決処分について（秩父市税条例の一部を改正する条例） 地方税法改正による条文整理及びたばこ税率の改定等	承 認	○	○	×	×	○
第 44 号	専決処分について（秩父市都市計画税条例の一部を改正する条例） 地方税法改正に伴う条文整理	承 認	○	○	○	○	○
第 45 号	専決処分について（秩父市国民健康保険税条例の一部を改正する条例） 失業対策及び被扶養者から国保移行者への軽減措置の延長	承 認	○	○	○	○	○
第 46 号	専決処分について（秩父市ふれあい学校条例の一部を改正する条例） 荒川東小学校ふれあい学校の新設	承 認	○	○	○	○	○
第 47 号	専決処分について（秩父市立病院使用料及び手数料条例及び秩父市大滝国民健康保険診療所使用料及び手数料条例の一部を改正する条例） 診療報酬改定による改正	承 認	○	○	○	○	○
第 48 号	専決処分について（平成21年度秩父市一般会計補正予算（第5回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 49 号	専決処分について（平成21年度秩父市国民健康保険特別会計補正予算（第4回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 50 号	専決処分について（平成21年度秩父市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 51 号	専決処分について（平成21年度秩父市介護保険特別会計補正予算（第4回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 52 号	専決処分について（平成21年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第4回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 53 号	専決処分について（平成21年度秩父市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 54 号	専決処分について（平成21年度秩父市戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算（第3回）） 事業費及び財源の確定による補正	承 認	○	○	○	○	○
第 55 号	埼玉県市町村総合事務組合の規約変更について 市町村合併（久喜市、加須市）による構成団体の変更	原案可決	○	○	○	○	○
第 56 号	彩の国さいたま人づくり広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について 市町村合併（久喜市、加須市）による構成団体の変更	原案可決	○	○	○	○	○
第 57 号	埼玉県後期高齢者医療広域連合を組織する地方公共団体の数の減少について 市町村合併（久喜市、加須市）による構成団体の変更	原案可決	○	○	○	○	○
第 58 号	工事請負契約の締結について 秩父市立西小学校 A 棟の大規模改修工事	原案可決	○	○	○	○	○
第 59 号	工事請負契約の締結について 秩父市立花の木小学校第1校舎大規模改修工事	原案可決	○	○	○	○	○
第 60 号	秩父市監査委員の選任について	同 意	○	○	○	○	○
第 61 号	秩父市教育委員会委員の任命について	同 意	○	○	○	○	○
第 62 号	秩父市固定資産評価員の選任について	同 意	○	○	○	○	○
議員提出 第 1 号	議会改革特別委員会設置に関する決議	原案可決	○	○	○	○	○
市民ク（市民クラブ 9名） 彩政会（彩 政 会 7名） 共産党（日本共産党秩父市議団 4名） 公明党（公 明 党 2名） 個人名（会派に属さない議員 3名） ※議長は会派人数に含まれていない。			○ 賛成 □ 賛否 ※賛成人数/会派人数 × 反対				

6月 定例会

秩父市下水道センター改築更新工事の委託協定の締結（協定額25億円）・・・ 原案可決

秩父第一小学校体育館改築工事の請負契約の締結・・・原案可決



秩父第一小学校体育館完成予想図

秩父市議会6月定例会は、6月10日から6月24日までの15日間を会期として開かれました。

この6月議会では、市政全般に対する一般質問に15名の議員が登壇し、市政発展のための活発な論議が展開されました。

審議した議案は、初日（10日）に市長から提出された8件、最終日（24日）に追加議案として2件、議員から提出された2件の議案、合計12件の議案です。上程された議案は、原案可決及び同意されました。

他に請願1件が審議され継続審査となりました。

6月定例会会期日程

6月 10日	○開会 ○会議録署名議員の指名 ○会期の決定 ○埼玉県及び全国市議会議長会からの表彰状の伝達 ○諸報告
11日	○市長提出議案の報告 ○議案第63号上程即決 ○議案第64号から議案第70号まで一括上程、説明
12日	○休会（土曜日） 問ヒアリング
13日	○休会（日曜日）
14日	○休会（議案調査・一般質問ヒアリング）
15日	○議案に対する質疑 ○議案の委員会付託
16日	○請願・陳情付託
17日	○市政に対する一般質問
18日	○市政に対する一般質問
19日	○休会（土曜日）
20日	○休会（日曜日）
21日	○委員会
22日	○委員会
23日	○休会（事務整理）
24日	○委員長報告 ○委員長報告に対する質疑 ○討論 ○採決 ○閉会

議
会
日
誌

4月	9日	北海道釧路市視察来訪
14日	18日	議会だより編集委員会 秩父市議会議員選挙
20日	21日	福岡県糸島市視察来訪 議会だより編集委員会
23日	28日	愛媛県今治市視察来訪 山口県周南市視察来訪
5月	7日	各派代表者会議 全員協議会
13日	17日	各派代表者会議 鳥取県鳥取市視察来訪
19日	21日	福井県勝山市視察来訪 沖縄県名護市視察来訪 臨時会
6月	3日	各派代表者会議 全員協議会 議会運営委員会
10日	15日	各派代表者会議 議会運営委員会 議員クラブ役員会
21日	24日	各派代表者会議 議会改革特別委員会 各派代表者会議 議会運営委員会 定例会閉会

6月 定例会

審議した議案の結果

議案番号	件名	結 果	会派の態度				
			市民ク	彩政会	共産党	公明党	上林金崎新井
第 63 号	名誉市民の推挙について 前秩父市長の栗原稔氏を名誉市民に推挙する	同 意	○	○	○	○	×
第 64 号	秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び秩父市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例 公務員の育児休業等に関する法律の改正等に伴う措置	原案可決	○	○	○	○	○
第 65 号	秩父市営バス条例の一部を改正する条例 大滝地区においてスクールバス混乗型市営有償運送を実施したいため	原案可決	○	○	○	○	○
第 66 号	秩父市学童保育室条例の一部を改正する条例 南学童保育室を南小学校内に移転するための位置変更の改正	原案可決	○	○	○	○	○
第 67 号	秩父市小作料協議会条例を廃止する条例 農地法改正に伴う標準小作料の廃止による条例廃止	原案可決	○	○	○	○	○
第 68 号	平成22年度秩父市一般会計補正予算（第1回） 定住自立圏推進事業、保育園新築事業補助金等の補正	原案可決	○	○	○	○	○
第 69 号	平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算（第1回） 下水道センター改築更新工事に関する継続費の補正	原案可決	○	○	○	○	○
第 70 号	建設工事委託協定の締結について 下水道センター改築更新工事に関する委託協定の締結	原案可決	○	○	○	○	○
第 71 号	工事請負契約の締結について 秩父市立秩父第一小学校体育館改築工事の請負契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○
第 72 号	人権擁護委員候補者の推薦について	同 意	○	○	○	○	○
議案第 1 号	秩父市議会議員定数削減を求める請願	継続審査	—	—	—	—	—
議員提出第 2 号	介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
議員提出第 3 号	小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
市民ク（市民クラブ 9名） 彩政会（彩 政 会 7名） 共産党（日本共産党秩父市議団 4名） 公明党（公 明 党 2名） 個人名（会派に属さない議員 3名）			○ 賛成 □ 賛否 ※賛成人数 / 会派人数 × 反対				

●意見書の提出

6月定例会の最終日の本議会において、議員提出議案の意見書2件が提出され、審査の結果、原案のとおり可決されました。

可決された意見書は、内閣総理大臣をはじめ、関係行政庁等に送付されました。

内容については次のとおりです。

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書

1 2025年までに、「介護施設の待機者解消」を目指す。そのために、介護3施設、特定施設、グループホームを状況に合わせて増強すること。

2 在宅介護への支援を強化するために、24時間365日訪問介護サービスへ大幅な拡充を行うほか、家族介護が休息をとれるよう「レスパイト（休息）事業」も大幅に拡大すること。

3 煩雑な事務処理の仕分けを行い、手続きを簡素化、要介護認定審査を簡略化し、すぐに使える制度に転換すること。

4 介護従事者の大幅給与アップなどの待遇改善につながる介護報酬の引き上げを行うこと。

5 介護保険料の上限が高くなりすぎないように抑制するため、公費負担割合を5割から、当面6割に引き上げ、2025年には介護保険の3分の2を公費負担でまかなうこと。

担でまかなうこと。

小規模グループホームの防火体制強化を求める意見書

1 275㎡以下の施設も含め、全てのグループホームにスプリンクラーの設置を義務化するとともに、交付金等による国の支援を拡充すること。

2 小規模グループホームにおける人員配置基準を拡充するとともに、介護報酬の引き上げを図ること。

請願

6月定例会に提出された請願は1件です。この請願は、議会改革特別委員会に付託され、慎重審査の結果、次のとおり決定しました。

請 願 の 内 容		
付託委員会	請 願 名	結 果
議 会 改 革 特別委員会	秩父市議会議員定数削減を求める請願	継続 審査

各常任委員会の報告

総務委員会

◆秩父市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び秩父市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

問 3ヶ月以上の育児休業をとる場合育児休業計画書を提出すれば休暇は取れるが、再度3ヶ月後にとる予定の場合は、育児休業計画書を提出し直すのか。

答 育児休業と計画書は、原則として1回である。しかし条例で2回取れる制度である。2度目の育児休業は最初の承認の時に一緒に計画書を出し日付を記入しておく。問 育児休業が当初1回の予定が何らかの事情で2度目を取らざるをえなくなった場合、計画書は提出するのか。

答 特別の事情に該当するか、何らかの事情で計画通り育児が出来ない状態になった時は、計画書はいらない。しかし基準に該当するか担当が判断する。

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目

問 定住自立圏推進事業、救急関係という事で説明されたが、具体的な説明を。

答 1市4町の負担金を広域組合に集め、5つの事業を広域組合において行うもので、1つ目は「救急輪番の補助割増し」で、救急

輪番病院に対し補助金の大幅な割り増しを行うものである。2つ目は、「救急車の機能向上」で救急車内に装備されている除細動器、患者監視装置等の更新を行うものである。3つ目は、「救急体制維持のための主要4病院選択メニュー」で、救急輪番を維持するために主要4病院の機能向上を図るもので、A・Bのメニューで初期救急の充実、設備投資など将来投資等がある。4つ目は、「救急輪番担当病院周辺での休日準夜帯の薬局の開設。5つ目は、救急患者に対するリハビリテーション体制の充実。秩父の場合は、脳卒中や心臓疾患の方が多く回復するための他病院との連携向上を図るものである。

以上5点についての事業を行うことにより、秩父の地域完結型医療を目指していく。

○以上2件は、原案のとおり可決



秩父定住自立圏議員合同研修会の様子

生活産業委員会

◆秩父市営バス条例の一部を改正する条例

◆秩父市小作料協議会条例を廃止する条例

◆平成22年度秩父市一般会計補正予算(第1回)所管費目

問 観光施設整備事業の秩父川瀬祭屋台・笠鉦全面修理事業補助金は、何割ぐらいか。

答 上限800万円として、2分の1。

◆平成22年度秩父市下水道事業特別会計補正予算(第1回)

◆建設工事委託協定の締結について

問 積算の根拠と昭和55年から現在までに日本下水道事業団に同様な発注の形態で事業を実施したことがあるか。

答 見積の根拠は、市が下水道事業団に委託し、事業団が民間のコンサルタントに発注するが、秩父市の処理場の状況を把握し、設計したものを基に事業団が国交省の単価、積算資料及び民間から見積を求め、積算して積み上げた金額が25億円である。また、委託した件数は2件。

問 積算が市でできない理由は。

答 下水道法の規定により政令で定める資格があるもの以外には設計または工事の監督管理を行うこ

とができない。有資格者のいない地方公共団体に代わって工事を執行するには都道府県が出資し、国土交通大臣の認可を受けて設立した日本下水道事業団は法人格を持つ非営利団体であり、規定により地方公共団体が実施すべき官業を代行できる唯一の公的機関とされている。

問 事業団の手数料の根拠は。

答 管理諸費の項目があり、工事費の5%とわられている。

※この件についてはたいへん高額であり、財政上も厳しい時期でもある。市民感情にそぐわない面もある。市民に理解が得られるような説明や努力をする必要がある、との意見が出された。

○以上5件は、原案のとおり可決



下水道センターの現地調査の様子

各常任委員会の報告

文教福祉委員会

◆秩父市学童保育室条例の一部を改正する条例

問 移転先の現在の状況はどうなっているのか。いつから供用開始になるのか。

答 移転先は、南小学校1階の東側の端から2番目の教室を予定している。一番端の教室がふれあい学校になっていて、その隣である。現在、その教室は空いている状態であり、準備はまだ整っていない。議案が可決された後に、夏を中心に工事を行い、今年度後半からは始められるように考えている。6月15日現在の入室児童数は44人である。その人数で考えると、部屋の広さとしてはやや狭いので、時間帯によっては、ふれあい学校の部屋を併用することや、体育館の活用も含めて検討していく。

◆平成22年度一般会計補正予算(第1回) 所管費目

問 市内4か所の保育園を新築、改築することにより、定員はどのくらい増えるのか。少子化傾向が続いているので、将来的には休園や廃園にすることも考えているのか。

答 今回の施設整備で、定員が170人の増員になり、総定員数は1,132人となる。少子化の影響で就学前の子どもが減っていくことを考えると、将来的には、老

朽化した保育園(保育所)を廃園等にしなければならぬ。しかし、最近0〜2歳児の入園希望が非常に増えており、0〜2歳児が入園できるようにすれば、今のところは保育園をそれほど減らしていく必要はないと思っている。平成23年度以降に施設整備が終わった上で、入園希望の意向を見ながら、廃園や統廃合を考えていくようにする。

問 保育園が隣接した場合、入園児童の取り合いにならないか。

答 入園の申請をしてもらうときに、第3希望まで書いてもらい、担当課で入園の調整を行っているので、取り合いになることはない。なるべく希望されている保育園に入れるように努力している。

○以上2件は原案のとおり可決



平成22年7月現在の南学童保育室

建設委員会

特別委員会報告

議会改革特別委員会

5月臨時議会で、議会改革特別委員会が決議され、8名の委員で設置された。

6月3日、第1回委員会を開催し、本委員会で審査する内容の協議を行い、早急に協議する項目を「議員定数について」「議員報酬について」「政務調査費について」「テレビ・インターネット等議会中継・放映について」の4項目を早急に審査する項目とし、その後協議する項目については、「市議会基本条例について」「一般質問の運営・形式について」「行政視察のあり方について」「夜間・休日等の議会開催について」「議長公用車について」の5項目を協議することとした。

また、議員研修会・勉強会を検討項目との意見もあったが、議員クラブ活動を充実してもらうことで協議項目からはずした。

6月定例会で「秩父市議会議員定数削減を求める請願」が代表者

※負託議案がないため開催されませんでした。

の他546名の署名をもって提出された。内容の要旨は、現在の議員定数26名を20名以下にする旨の請願であった。

委員会を開催し、慎重審査した結果、本特別委員会で早急に審査する項目とも関連があり、引き続き審査する必要があるため、「継続審査」となった。委員会では、県内関係団体の資料も検討し慎重に審査していく。

〈請願〉

◆秩父市議会議員定数削減を求める請願

○継続審査

〈議会改革特別委員会委員〉

委員長	浅海 忠
副委員長	新井 豪
委員	上林 富夫
	富田 俊和
	小池 治
	斎藤 捷栄
	福井 貴代
	宮田 勝雄

いっぱんしゅもん

芝桜公園について

市民クラブ 江田 治雄

問 年々来場者が減る傾向にあるが、その要因は。また、年間の管理費は。更に今後の展開は。

答 今年は開花時期前半の天候不順により、開花の遅れなどにより予想以上にばらつきがあった。また、関東圏内に同種の公園が整備され、競合し来場者が減少した。年間の管理費は苗の購入・植え替えや、土壌改良などで1億5千万円ほどかかる。今年は、連休の時に入場時間などの問題で、お客様に迷惑をかけた。今後とも来園者の増加に努めるほか、管理面では民間委託なども視野に入れて検討する。

●公園について

問 浦山地区の公園が無い事を知った。市内で公園の無い地区は他にも存在するのか。

答 多くの市町では、法務局の公図を複製し、サービスの一環として、住民の請求により、有料で写しを交付している。浦山地区の公図で、地番により法務局にあるが、約半分以上の公図が存在しない。法務局では、存在しない公図を作成するには、膨大な費用と長期間

を要するため現時点では考えていない。また、吉田地域内で13件、大滝地域内で77件ある。市として積極的に国へ要望する。



発信機を取り付けている様子

- ◎小中学校の地デジ化の問題
- ◎市立図書館の今後の計画
- ◎シリーズ有害鳥獣対策の問題

「秩父市の木」について

彩政会 新井 豪

問 合併以来「市の木」は「カエデ」となっており、市の良きシンボルとなっている。しかし、市内の幼稚園や小中高の学校の校章に多く用いられ、公園の並木、秩父神社を象徴する木、そして、古語では「ちちのき」と言い、「ちちぶ」という地名の語源とされる木こそ、合併によって姿を消された旧秩父市の木「イチヨウ」である。カエデと並べ「イチヨウ」を市の木として復活させるべきでは。

答 「市の木」に2つ目を追加するか、「市民の木」として選定するか、幅広く意見を聴き検討する。

●ちちぶコミュニティFMラジオ放送

問 地域密着した観光、商業、生活、行政、防災といった情報を発信できるコミュニティFMラジオ放送局の開設に向けた、現在の市の取り組み状況は。

答 昨年度末、開設した神奈川県清川村のコミュニティFM局等を視察調査し、研究を進めている。

●「子ども手当て」

問 給食費等の滞納者に対しては

口座振込でなく、窓口での現金支給とし、そこで滞納金の納付相談をするべきでは。

答 保育料滞納者の数名には現金支給とした。給食費滞納者には、手当支給にあわせて学校長や教育委員等の家庭訪問を実施し、納入のお願いをしている。



秩父神社のイチヨウの木

- ◎スポーツの森へのテニスやパターの全国大会誘致
- ◎芝桜公園の開園時間について
- ◎コミュニティ・ワンセグ放送局開設の提案

いっばんしつもん

「教育」について

問 抽出調査になった全国学力テストの実施状況は。

答 当市では小学校2校、中学校1校が抽出校として4月20日に実施した。その他の学校も希望参加した。

問 夏休みの期間は。

答 昨年度と同様に6校が前半を短縮し、その他の17校は後半を短縮する。

●「子ども施策」について

問 認定子ども園の種類と現状は。

答 幼保連携型、幼稚園型、保育所型、地方裁量型の4種類ある。現在当市では1園が認定を受け、今後幼保連携型のこども園が3か所増える予定で、国は今後、幼児教育と保育をともに提供する「こども園」に一本化するように検討を進めている。

●「森林・林業」について

問 公共建築物の木造化の必要性和当市の取組みは。

答 木造建築物は癒しの効果・断熱性・紫外線を吸収する効果が高い。木造利用促進法が成立し、当市では「秩父産木材利用検討会」

市民クラブ 落合 芳樹

を立ち上げた。市が主体的に秩父産木材の利用にかかわり、地域産業の振興に繋げていきたい。

問 水源林の売買の実態は。

答 県内では確認されていない。

問 地下水の権利はどうなっているか。

答 国の各省庁で議論が行われているが、法文上の定めがない。



利用間伐作業の様子

◎子ども手当について

観光立市とおもてなしの心について

市民クラブ 浅海 忠

進していく。

●大滝地区小中学校の統廃合

問 児童・生徒数が激減している状況で保護者や地元町会とよく協議・議論をしてほしいがどうか。

答 保護者や地元の皆様、学校現場等から意見をいただき慎重に協議・検討していく。

問 サイクルトレインの成果と課題・駅周辺の受け入れ体制。

答 サイクルトレインは大掛かりなイベントなので今後実行委員会から民間企業主体の開催としたい。また、経済効果拡大のため宿泊を含む滞在型イベントでの開催を検討したい。受け入れ体制として、西武秩父駅前の「秩父観光情報館」に無料更衣室・コインロッカー・自転車空気入れ等を完備した。今後、道の駅等に自転車スタンドの設置や自転車整備用品の配備・主要駅付近でのシャワー施設の整備をし、「自転車のまち秩父」を推

進していく。



ミュージックパーク・スカイロードの風景

いっぱんしゅもん

口蹄疫対策について

日本共産党秩父市議団 新井 康一

問 県北でもすでに早い時期に消毒用の消石灰を対象畜産農家に配布した自治体がある。後手に回らないよう予防対策をとる必要がある。野生のシカ・イノシシに感染したら拡大を防ぎようがない。疑いのある家畜が発見された場合の通報体制と検査の体制は。

答 6月9日に市内44の全畜産農家に消石灰を無料配布した。県熊谷家畜保健衛生所の指導の下で異常の早期通報・正確な情報の伝達・関係者以外の畜舎の出入りの抑制・消毒の徹底を行なっている。野生動物対策としては畜舎内外の消毒の徹底と、畜舎に近寄らせない対策が重要と考える。

また県では定点モニタリング調査を実施し、異常の有無の聞き取り調査をしている。

問 発生した場合は総て殺処分するとのことだが、埋める場所の確保や通行車両消毒体制、移動制限や搬出制限等の対応は。

答 6月9日県熊谷家畜保健衛生所で口蹄疫連絡調整会議が開かれ、防疫措置対応マニュアルに基づき、関係機関と初期・初動対応等できるように連携等調整を図っている。

●高齢者施設の防火対策

問 平成18年の長崎県大村市の認知症高齢者グループホームの火災を契機に消防法施行令が一部改正された。指導体制・整備状況と基準に満たない小さな施設への指導はどうなっているのか。

答 グループホームのスプリンクラーについては未設置の1施設が今年度交付金で設置予定。有料老人ホームでは1施設が未設置。基準未達の小規模施設についても国が補助を予定している。



◎市道の改良と安全対策

口蹄疫についての報道記事

重要有形民俗文化財の保存管理について

彩政会 松澤 一雄

問 笠鉾、屋台の修理等の復元新調に対する材料調達に基金制度等を設けて対応できないか。

答 文化財保護のため、入手難な部材の調達方法は重要なので、基金等の創設を含め、財政状況を念頭に屋台町会の意見を聞いて前向きに検討する。

●歴史文化伝承館等の活用について

問 歴史文化伝承館建設の目的に沿って市民の皆様を順次夜祭りの観覧の場に提供できないか。

答 伝承館の2階から夜祭りが観覧できるようプロジェクトチームを創設し、観覧についての安全性等の方策を検討し、今年度から夜祭りを観覧できるよう進める。

問 市民に親しまれた旧大宮学校の再現活用の考え方について

答 旧大宮学校は、市民の深い愛着と長い歴史と風貌を持ち、学校としての役目が終わっても多くの活用機会が与えられた建物であり、今後、復元の方法や活用方法を研究し、前向きに検討する。



秩父夜祭の風景

●市の財政状況について
問 合併後の各財政指数の推移とその時点における財政状況の良否を示し、今後の財政運営をどのように考えるか。

答 合併後の各種の財政指数によれば、一部の指数は望ましい方向に動いているが、財政構造の弾力性を示す経常収支比率や経常一般財源比率の数値が硬直化を示すことから、今後の財政運営は、将来を見据えた健全運営の基に市民の要望に応える予算編成に努める。

いっぱんしつもん

市立病院循環器内科開設の成果

新井 重一郎

問 ①開設後6か月間の患者数。
②高度医療機関への紹介数。③循環器内科で何処までの治療を行うか。

答 ①外来347人、入院60人合計407人。②54人。③心臓カテーテル手術は現状では不可能。高度医療機関との連携を密にし、現状に見合った役割を果たしていく。

●新市長一年、市民サービスへの変化

問 市長ふらっとミーティングの①回数、参加者。②内容。③どのように生かされたか。④今後の予定。

答 ①今年5月まで10回、600人以上。②地域密着型の要望多し。③現地調査ですぐ対応したもの、予算化し事業着手したもの。迅速に対応するため各総合支所所管の新年度予算に「地域生活環境整備工事」として各300万円を予算処置した。④新たな形で続ける予定。

問 新設すぐやる担当の①目的。②担当者数、予算。③今までの相談件数。

答 ①お困り苦情電話相談に可能

な限り即刻対応し処置する。②3名、予算なし。③今年5月まで168件。

●理科おもしろ実験教室について

問 ①今年度の特徴は。②参加対象者と募集定員は。③実施日と場所。

答 ①児童の他に教員も募集。「めざせ秩父ジョッキーズ」とセットで実施。②小学3～6年生とその保護者、50名。③7月18日、教育研究所。8月7日、市内荒川流域。



秩父市立病院

◎市の地質、歴史、伝統産業などを市の活性化に結びつける方策
◎抽出方式による全国学力テスト

子宮頸がんワクチン接種補助

日本共産党秩父市議団 出 浦 章 恵

問 3月議会の質問で、中学生に対して接種補助をするよう提案したが、消極的な答弁だった。その後、接種補助をする自治体が増え、全国的な流れとなっている。新聞、テレビでも取り上げられ積極的に女性の命を守る取組みが進められている。再度、当市の見解は。

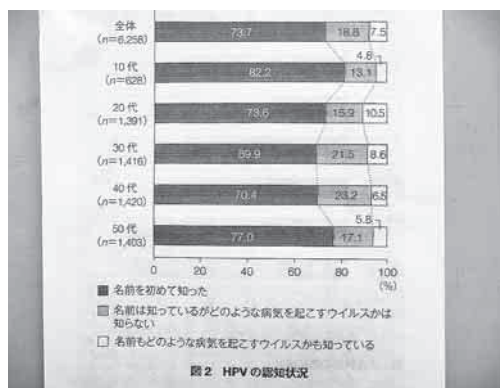
答 志木市、北本市が実施中で、川越市、寄居町が年度内実施を検討中。当市の今年度5月末現在の小学6年生と中学3年生までの女子の合計人数は1千3百30人。公費補助実施は、その対象年齢や補助金額等について今後、財政当局及び郡市医師会等と調整を図り、早期実施に向け検討していく。

●病中・病後児保育

問 何度も質問したがいまだに実施の見込みすら無い。以前から手を挙げてくれている市内医療機関との話し合いも持たれたが、これまでの経過を見ると、当局からはいまひとつ本気でやる気を感じられない。国・県からの予算付けがあれば良い事は言うまでもないが、市独自でもやろうと言う気概が市長からも伝わってくるものが無い。

この間、どう努力してきたのか。

答 市民から要望も多く大変重要な子育て支援策の一つと認識している。1市4町との共同で定住自立圏の「子育て支援ワーキンググループ」で本年3月議会で協定を締結した。今後もご協力いただける医療機関等と協議を重ねると共に、看護師や保育士の配置、施設改修費等の課題を一つ一つクリアし、早期実施に向け前に進んでいく。



子宮頸がんに関する認知度調査

◎就学援助費制度について

いっばんしつもん

企業誘致と雇用対策について

彩政会 五野上 茂次

問 企業誘致について誰もが考える事だが、秩父市の現状について。

①営業スタッフは何人いるのか。
②どの様な職種を考えているか。
③営業地域はどのようなところか。

答 ①産業観光部商工課が所管し6人のスタッフで推進している。
②情報処理産業、通販のコールセンター、食品関連産業等で小さな敷地で多くの雇用がある企業。
③新たな候補地の選定に取り組んでおり、職員が県や金融機関に出向き、誘致活動を推進している。

●遊休工場について

問 ここ数年秩父地域においては空き工場が大変多く見受けられる様になってきた。そこで大企業誘致でなく、遊休工場を利用して頂くことや、30人〜50人、規模の仕事に絞り、地域の企業に紹介できる営業が必要と思うが。

答 遊休工場の活用は、所有者にとっても大きなメリットがある。登録制度の充実を図り新たな産業の誘致活動の展開をしていきたい。

●遊休農地の利用について

問 ここ数十年耕作地が大変減少



秩父市民農園の様子

し、雑草が生茂るのが目に入る。職を無くしている方々に利用して頂き（少々時間は掛るが）有機栽培を実現し、秩父ブランド野菜とし首都圏に売り出すと共に、新しい産業の源としたらどうか。

答 職のない方が将来特産品を生産するようになれば素晴らしいこと。今後、市としては農林振興センターほか関係各機関と協力を整え遊休農地の解消や自給率向上に寄与すべき事業を行っていく。

お年寄り・子どもに優しい道づくり

日本共産党秩父市議団 山中 進

問 ①国道140号押堀交差点に右折レーンの設置ができないか。

答 埼玉県で進めている「人にやさしい道づくり」を目標に、安全を確保するために、渋滞や交通事故を減らすために交差点整備している。

県道・市道が複数交わっている交差点だが整備するよう今後、県土整備事務所に要望していく。

問 ②花の木小・秩父高校の北面市道に速度表示版と路側帯を設置できないか。

答 通学路の安全確保を目的として路側帯のグリーンベルトの設置を順次進めている。

問 ③大滝地域の強石・落合地区に浸透式の舗装ができないか。

答 現在、日野田から黒谷まで浸透式舗装を進めている、質問の地域について個々に対応する事も可能だと県から聞いています。引き続き要望していく。

●路線バスおよび市営バス運行について

問 三峰地区と大血川地区への運行計画は。鉄道との連絡時間の短縮を。

答 大滝地区の公共交通の再編に取り組んでいる。地域の皆さんや大滝総合支所と協議を進めながら10月の再編に併せて実施できるよう準備を進めている。

連絡時間については速やかに西武観光バス（株）へダイヤ調整を要望していく。



通学路の安全

◎40才・50才代の脳疾患による療養後の就労支援について

いっぱんしつもん

女性の命を守る、
子宮頸がんワクチンに公費助成を

公明党 福井貴代

問 「子宮頸がんは、予防する病気。」これが世界の常識である。日本では対策が遅れ、年間3千5百人の女性が亡くなっている。私が初めて子宮頸がんワクチンの公費助成について質問してから1年半。ワクチン接種の公費助成に向け取組む自治体が増えてきた。秩父市の公費助成による接種はいくから、どんな方法で実施するのか。

答 平成23年度当初から、子宮頸がんワクチンの公費助成を開始することを目標に、助成金額等について検討を行っている。

問 細胞診とHPV検査の併用で精度の高い検査を導入すべきと考える。市の取組みは。

答 平成22年度より、細胞診による一次検査で、要再検査等の判定者に二次検査としてHPV検査を実施。前がん病変を発見できる「ベセスダシステム」を導入した。

●ミューズパークのイルミネーションについて

問 人気のあるイルミネーション事業への見解と、今後の取組みは。

答 3年間をひとつの区切りとして事業を検証。多くの方から「感

動した。素晴らしい。」との声がある一方で費用対効果が高くない。今年度は中心市街地の活性化に寄与するような取組みを検討する。



中心市街地活性化に寄与する事を検討中のイルミネーション

- ◎ 父子家庭への児童扶養手当
- ◎ 赤ちゃんの駅
- ◎ 国民読書年の取組み
- ◎ 消費生活相談窓口の充実
- ◎ 花の木市営住宅
- ◎ 太陽光発電の補助制度
- ◎ 小・中学校の地デジ対策

木の家促進事業の推進

公明党 大久保 進

問 木の家促進事業の進捗状況は。

答 秩父産の木材利用検討委員会を立ち上げ、秩父産木材の利用拡大を検討していきたい。

問 秩父産木材を使った住宅への貸付制度は。

答 秩父産木材の利用促進につながれば効果が上がると考えられる。今後、さらに調査、検討していく。

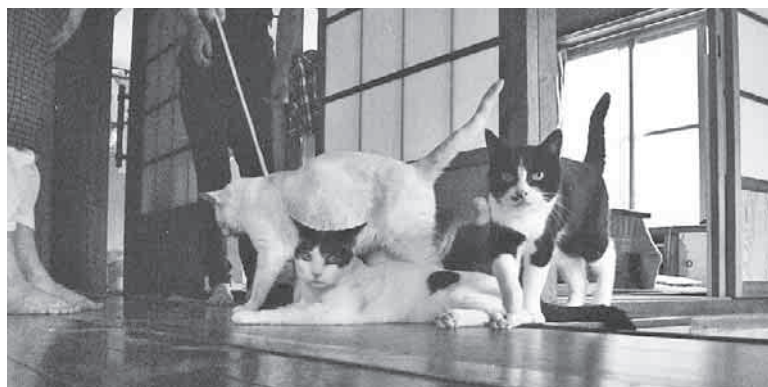
問 子どものころから木材、森林の大切さ、木の良さを学習、体験できるように施設はできないか。

答 建設予定地の確保、財源等の問題から、早期の実現は難しい。今後の検討課題であると考えている。

●小さな命を大切に作る社会

問 子どもたちが心豊かに育つために、生活の重要なパートナーとして、ペットはかけがえのない、家族の一員である。そのために、ペットと共生できる、命にやさしい社会を築かなくてはならない。最近では、殺処分が多くなってきた。去勢、不妊手術に対して費用の一部助成ができないか。

答 県内ではいくつかの自治体がこの助成制度を取り入れているが、



小さな命を大切に作る社会

- ◎ 口蹄疫対策について
- ◎ 幼稚園、保育所の扇風機の設置状況について

いっばんしつもん

市民満足度調査にみる雇用対策

金崎 昌之

問 雇用の促進は、「最も重要度が高いのに最も満足度が低い」との市民評価。地場産業や地元企業の支援、障がい者雇用の促進、雇用労働相談窓口の継続・強化等、雇用を推進するための取り組みは、

答 地域経済の活力を高めるには、既存企業を元気づけることが何よりで、地域全体で支援したい。また、市として障がい者の積極的な採用を今後も進める。天ぷら油再生事業での障がい者雇用については、関係者と相談を始めている。

●観光産業の振興について

問 ミューズパークの活性化策として、花の回廊やプールの時期に合わせた農産物等直売テントの開設は。また、浦山フレッシュセンター等では観光案内の拡充が必要。

答 直売テントは、周辺農業者とも相談して売り上げ収入が上がるようなシステムを検討。観光案内は、インターネットでの案内拡充や案内板の新設等、充実したわかりやすい案内を実施したい。

●婚活支援について

問 「農業で婚活」等、各自治体

が婚活支援に積極的だが秩父市は。
答 晩婚化・未婚化の意識改革や社会福祉協議会で行っているイベント・相談の改善等が考えられる。

●自転車運転安全教育の徹底

問 自転車の危険運転防止に、子どもたちへの自転車免許制度導入や安全教育の徹底が必要では。

答 県の自転車運転免許制度に吉田小が取り組み、各小学校で交通安全教室を実施している。引き続き交通安全教育を徹底したい。



交通安全教室の様子

市の発注事業について（随意契約）

上林 富夫

問 随意契約による事業発注対象業者は物品購入等も含め何社か。見積りは何社から取るのか。各事業部ごとの金額、件数、主な代表的な事業をうかがう。

答 随意契約、競争入札を問わず、工事等の発注または物品購入により登録されていることが条件であり、現在、建設工事等に2253社、物品に1245社が登録され、随意契約についても特別な場合を除き2社以上から見積りを提出してもらい、競争性の確保を行っている。また、平成21年度における随意契約発注件数は1097件で金額は15億1404万円で主な内容は管理業務および保守点検等の委託料が400件、金額で7億509万円。また、130万円未満の工事441件、金額で2億5739万円などとなっており、財務部の件数は70件で2億3859万円で、主な内容は市民会館指定管理料2416万円、契約相手先は秩父地域振興公社である。

地域整備部の所管件数は411件で3億7287万円、主な内容は芝桜対策事業委託料8921万



公園内管理業務の委託契約（芝桜まつり期間中）

◎外国人からの子ども手当申請状況について
◎職員採用関係について

いっぱんしつもん

市民会館の改築計画について

市民クラブ 荒船 功

問 本会議初日の市長のあいさつで(仮称)ふるさと学習センター構想が述べられて、市民会館の改修について、合併特例債を使っての事業説明があったが、ふるさと学習センター準備室の作業および用地交渉の進捗状況は。

答 秩父宮記念市民会館は、昭和42年3月に竣工で43年経過している。市庁舎は48年経過しており共に耐震性、老朽化の両面から対策を講ずる必要がある。改築等について今後市民への周知を行い、財政面では合併特例債の活用を前提に「ふるさと学習センター準備室」を設立し作業を開始した。

ふるさと学習センター設立準備室は2人の専任職員と7人の兼職で構成。市行政全体に関わるため、次長、課長級職員20人でプロジェクトチームと若手職員60人でワーキンググループを組織して、各施設の基本調査、現状調査等の検討作業そして課題を含めた、たたき台となる案を作成している。

この案を基にして、市民の参画を得て「基本方針」を完成させる。そのために、市民が参画する懇話会等の募集案内を検討し、市報8



秩父宮記念市民会館

月号やホームページに掲載し市民への周知活動を行う。
太平洋セメントとの土地交渉は2回。また、跡地の現地調査を行っている。今後は設立準備室が中心となり、太平洋セメントとの交渉ならびにプロジェクトチームおよびワーキンググループと協議を重ねていく予定。

請願・陳情はこんな方法で・・・

請願を市議会へ提出する場合は、次の様式で作成し、議会事務局へ提出して下さい。

- ①請願・陳情の件名
(「〇〇に関する請願」または「〇〇に関する陳情」)
- ②要旨・理由
(内容は簡単明瞭に)

- ③請願・陳情者の住所、氏名及び押印(多数で請願・陳情する場合は、必ず代表者を決めてください。)
- ④請願は1人以上の議員の紹介が必要です。紹介議員の署名又は記名押印を受けてください。陳情も様式は請願と同じですが、紹介議員は必要ありません。
- ⑤請願・陳情の提出はいつでも受け

付けますが、当該定例市議会にかかるものは、事務処理の都合上、定例市議会の招集初日の正午までに提出をお願いします。

- ⑥請願・陳情の様式は、A4判縦、横書きでお願いします。
- ⑦詳しくは議会事務局へお問い合わせください。
(下記は請願書様式です。)

〇〇に関する請願者名簿

住 所	氏 名	印

請願者が多数数の場合

〇〇に関する請願

趣旨
〇〇〇〇・・・。
説明
〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇・・・。
上請願します。

平成〇年〇月〇日
請願者(代表者)住所
氏 名 ㊤

秩父市議会
議長 〇〇〇〇様

(文例)

請 願 書

紹介議員
氏 名 ㊤
(署名または記名押印)

表紙

永年勤続表彰

去る4月16日に開催された埼玉県市議会議長会および5月26日開催の全国市議会議長会の各総会で永年勤続表彰が行われ、当市議会は、次の方が表彰されました。

「埼玉県・全国議長会」

表彰 15年以上

中村 義一 前議員



「埼玉県・全国議長会」

表彰 10年以上

浅海 忠 議員



人事案件

任期満了に伴う、人権擁護委員候補者の推薦について意見を求められ、市議会は次の方を適任と認め同意することに決定しました。

人権擁護委員候補者

新井 正夫 (下吉田)



市議会を傍聴してみませんか

9月定例会の予定

各日、午前10時開会予定

日	程	議 事
8月31日(火)		開会、議案説明
9月 3日(金)		議案に対する質疑
9月 6日(月)、7日(火)、8日(水)		一般質問
9月10日(金)、13日(月)		委員会
9月15日(水)		委員長報告、採決、閉会

※ 日程は、定例会初日に正式に決定されるため、都合により変更になる場合もありますので、ご了承下さい。

※ 委員会の傍聴は、事前に許可が必要です。

議会用語解説

一般質問とは

一般質問は、議案に関係なく、行財政や市政全般について、市長をはじめとした執行機関に対して見解などを問うもので、定例会でのみ行われます。議会では、議案の審議と同じように、一般質問も重要な役割をもっており、市民の考えを市政に反映させるなど、市当局と自由に討議ができる場でもあります。

また、演壇での質問の際、議事をスムーズに進行させるため会議規則により、前もって質問の要旨を文書で提出することになっているほか、円滑な議事運営および適切な答弁を得るためにヒアリング制を導入しています。

意見書とは

議会には、その自治体に関係することや広く市民生活にかかわることについて、国、県または関係行政機関に対し、意見書の提出権が認められております。これは、地方自治法に基づくもので、住民の代表である議会に意見書を提出する機会を与え行政に住民の意見を反映させようとするものです。また、意見書の内容は、特に制限はなく、議会で決定して国や県に提出することができます。

編集後記

6月定例会は、先の選挙改選後初めての議会であります。26名に定数が減った事により、議席を改良しました。以前は、一般質問は議長席前の演壇で発言し、再質問は自席で行っていましたが、議席の減により最前列中央部の席を質問席にし、執行部と対面式に改良しました。登壇した議員より発言し易くなったと好評でありました。

今回15名の議員が登壇し、市政に対し提言や市民の声を多岐にわたり発言し、活発な議論を展開しました。市民の皆さん、お気軽な気持ちで、議会の傍聴にお越しください。関心を持って頂く事により、より良い議会改革につながるものと思います。

平成22年6月 江田 治雄 記

編集委員



委員長 江田 治雄
副委員長 新井 豪
委員 上林 富夫
委員 木村 彦
委員 山中 進
委員 大久保 進